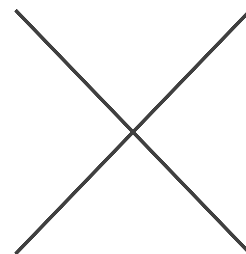


SDGs



寒梅酒造

宮寒梅



MIYAKANBAI



合名会社 寒梅酒造
代表社員 岩崎 健弥

合名会社 寒梅酒造

宮城県大崎市古川柏崎字境田15

従業員数：7人

創業年：1918年

代表社員 製造責任者 岩崎 健弥

2008年4月 東北福祉大学卒業後、
寒梅酒造入社

2018年4月 代表就任

2018年9月 IoT活用のチャレンジ開始

2019年3月 蔵を利用した店舗兼
交流施設開設



こころに春をよぶお酒 一杯で旨い酒

自社田で栽培した酒米で日本酒造りを行う。
米づくりから醸造まですべて行い、
手作業にこだわった顔の見える
日本酒造りを大切にしている。

咲き満ちるあでやかな香り、
奥深い米の旨味と爽快なキレ、
ふと目を閉じて味わいたくなる。
「一杯のご馳走」を目指し醸造している。



寒梅酒造における SDGsの取り組み

働き方改革①

従来、酒造り最盛期は

- ・早朝5:30勤務開始
- ・2時間おきに もろみ を見回る夜勤も
- ・日月火水木金土…休みなし(!)
- ・・・などなど、決して労働環境は良くなかった

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



働き方改革①

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに

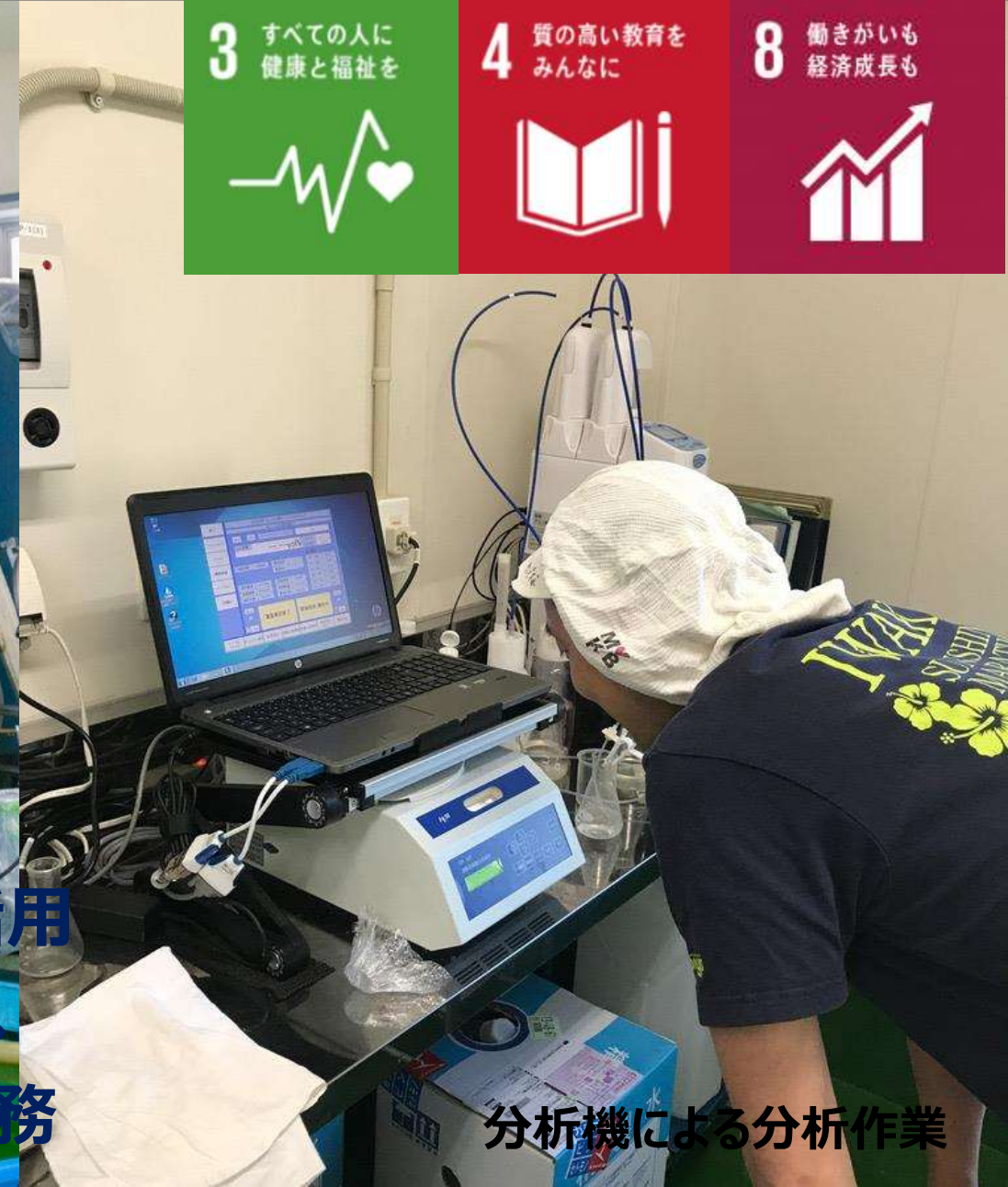


8 働きがいも
経済成長も



働きやすい環境づくり

- ・酒造りをマニュアル化、数値化し社員教育へ活用
→社員皆が健康的に酒造りに関われる環境へ
- ・夜勤廃止、繁忙期も基本は8:30-17:00勤務



分析機による分析作業

働き方改革②

5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



10 人や国の不平等
をなくそう



柔軟な働き方の推進

- ・育児をしている方などを積極的に採用
- ・10:00-13:00勤務などフレキシブル勤務も
→育児中の女性を含む3人のパートさんも活躍



環境問題対策

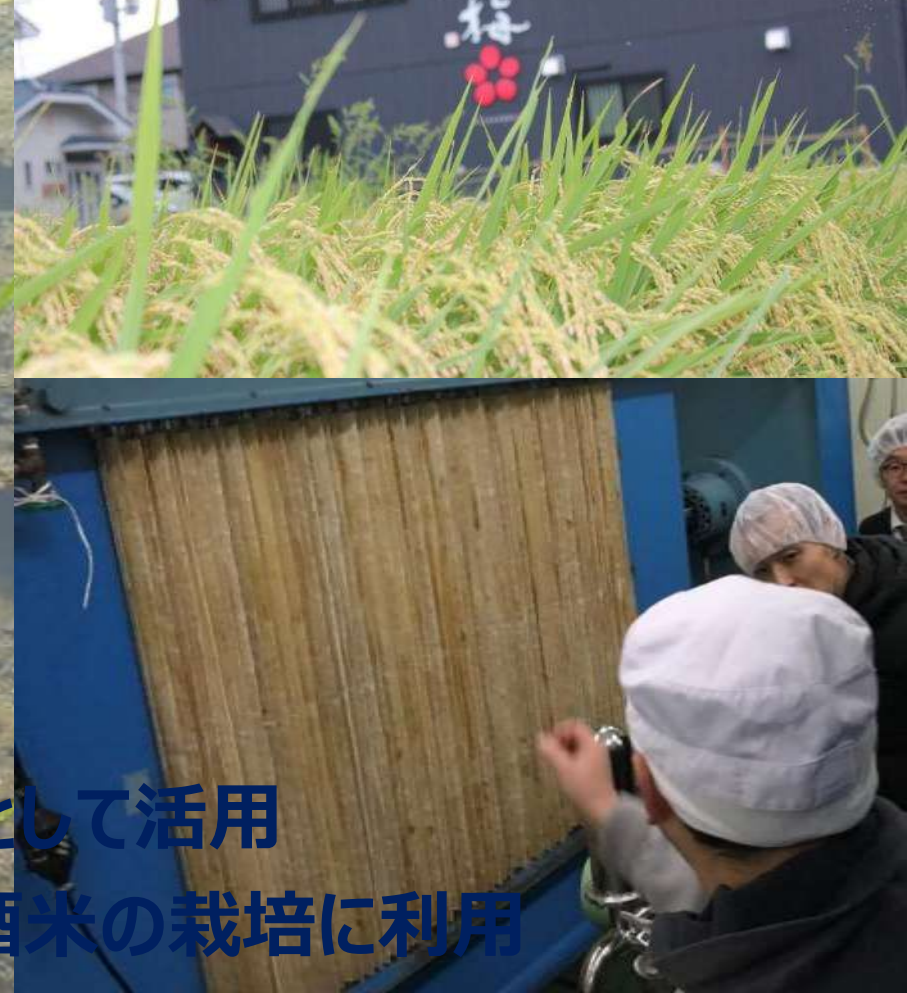


廃棄物の削減・循環型社会の推進

日本酒を絞り終えた酒粕は通常、廃棄処分

→大崎市内の畜産業者に譲り渡し、ブランド豚の餌として活用

さらに畜産業者からは家畜由来の肥料をもらい、酒米の栽培に利用



地域貢献①

地域農業振興

全国から仕入れていた酒米を、
大崎市産をはじめとした宮城県産100%へ
敷地内での自社栽培米も積極的に活用

撮影地：大崎市古川 自社農場



地域貢献②

地域の活性化

- ・古い蔵を改装し、店舗 兼 地域交流施設としてオープン
- ・地域交流イベント等を積極的に開催
- ・地元学校の実習等も受け入れ



新たなチャレンジ

IoT・ICTの活用による業務改革

- ・温度、もろみの状態管理にIoTを活用
- ・代表が出張中でも遠隔から酒造りの様子を見守る
- ・日本酒の質向上、製造ノウハウの伝承、効率化等を目指す

